



第312号
2022年6月10日

愛教労NEWS

愛知県教職員労働組合協議会

9条をもつ日本こそ、平和への仲介を！

ー ウクライナ侵攻抗議スタンディング ー



「戦争反対」「ロシアのウクライナ侵攻に抗議」「STOP PUTIN」などなどを掲げ、道行く人に訴えかけます。

「9条をもつ日本こそ、ロシアの侵攻をやめさせ和平への仲介ができる国ではないのか？政府はなぜその先頭に立たないのか。」などと考えながら、6月3日（金）の夕方、大須・万松寺交差点で「ロシアによるウクライナ侵攻抗議スタンディング」を行いました。

【幹事 住田】

名古屋市「総合教育会議」 河村市長と教育委員が折り合わず

6月3日（金）名古屋市「総合教育会議」が開催された。河村たかし市長と松雄副市長、対する側に教育長不在のまま各教育委員。周りを事務局幹部と記者・議員が囲むように占める。傍聴者は愛教労組合員2名のみ。議題は「名古屋市立学校でのいじめ防止対策に係る調査・検証委員の選任について」。

はじめに副市長が調査検証機関の設置について趣旨説明。これは2018年1月名東区中1生自死事件を端に発したもの。事件後に学校・市教委など調査・対応が不十分であることが「いじめ問題再調査委員会」によって指弾されてきた。今回は「いじめ対策」が各学校で確実に実施されているか、調査・検証を行おうというもの。調査・検証委員として弁護士3名、学識経験者2名のメンバーが提案された。



定例の教委会議のようにシャンシャンと決まるかと思われたが、そうはならず、市長側と教委側で冒頭から対立。「一人の子ども死なせない」学校づくりのため外部の陣容で早急に実施したい市長側と、学校の実態をつぶさに知る者を加えて十分な体制で臨むべきだという教委側で、延々と押し問答が続いた。

30分以上の激論が繰り返されて、本日の結末は市長側提案そのものが「保留」となった。衆人環視の中で教育のあり方が厳しく問われるのは、これはこれでよいこと。組合の傍聴活動も重要なことと再認識した。 【幹事 中村】

事務所住所：〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-26 大須土方ドリームマンション 801
TEL：052-242-4474 FAX：052-242-2938 HPはこちら
Mail：aichi@aikyourou.jp URL：http://www.aikyourou.jp/ QRコード▶



#NO WAR #STOP WAR

戦争反対！暴力反対！